

令和7年度 長野県産業教育振興会 特別生徒研究助成 報告書

長野県飯田OIDE長姫高等学校
コンピュータ制御部 羽生 優太

1 研究事業名

CM 動画制作による交通安全啓発

2 研究概要

コンピュータ制御部では、交通安全啓発をテーマとしたCMを制作し、コンテストに参加した。結果は入賞には至らなかったが、生徒たちにとっては社会課題に向き合う貴重な経験となった。制作過程では、動画編集技術の向上だけでなく、交通事故の現状やその背景を調べ、受け手に強く伝わる表現とは何かを検討した。限られた時間と構成の中で、どの情報を選び、どのように表現するかを話し合いながら作品を完成させたことは、技術面と意識面の双方において大きな学びとなった。

3 活動内容

交通安全啓発のCM制作の実施交通安全啓発を目的とした「高校生交通安全CMコンテスト」に参加した。撮影した動画を素材とし、本校のAdobe Premiere Proを用いてCMの編集を行った。

動画制作にあたっては、企画立案の段階から構成を検討し、撮影計画を立案したうえで撮影を実施した。映像に加えて場面ごとの音声を別途収録し、意図が的確に伝わるよう音響面にも配慮した。編集作業では、カット構成やテロップ挿入、音量調整などの操作を習得しながら、全体の流れやテンポを意識して作品を仕上げた。また、作品内で使用する小道具も生徒自らが製作し、表現内容が明確になるよう工夫を重ねた。

応募作品は「気を付けよう 交通安全 見ザル 聞かザル 言わザル」である。本作品では、交通安全という広いテーマの中から日常生活に潜む危険に着目し、身近な行動を見直すことの重要性を伝える構成とした。

具体的には、「周囲を見ザル」では歩きスマートフォンの危険性を、「周囲の音を聞かザル」では大音量でのイヤホン使用による注意力低下を、「周囲に危険を言わザル」では周囲への無関心を、それぞれ象徴的に表現した。構成には紙芝

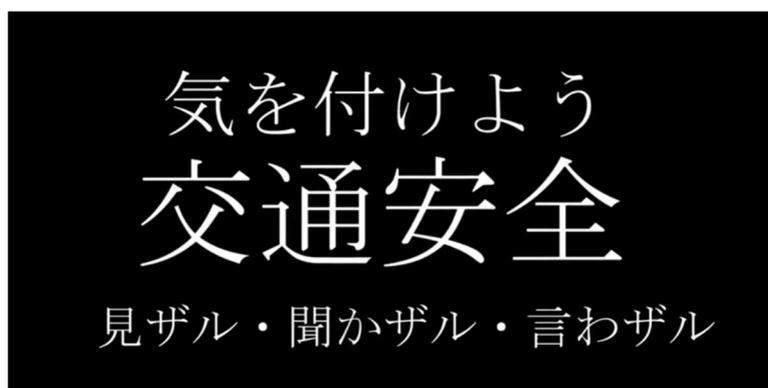


写真1 応募作品タイトル



写真2 応募作品シーン1



写真3 応募作品シーン2

居形式を取り入れ、生徒が制作を担当することで、内容が視覚的に理解しやすい作品となるよう工夫した。

結果として受賞には至らなかったが、生徒が「見ザル・聞かザル・言わザル」という言葉を交通安全の観点から再解釈し、自ら課題を考察する経験につながった。

4 まとめ

CM制作にあたり、単に映像を撮影し編集する作業にとどまらず、交通安全という広いテーマの中から特に優先して伝えるべき課題を検討した。限られた時間で効果的に訴えるためには、情報を整理し、内容の取捨選択を行い、伝える焦点を明確にする必要があることを学んだ。この一連の過程は、生徒が主体的に社会課題と向き合い、自ら考え判断する姿勢を養う機会となったと考えられる。

その結果、動画制作に関する技能の向上に加え、構成を組み立てる力、意図を的確に表現する力、全体を見通して企画を立案する力など、多面的な能力の伸長につながった。また、短時間で印象を残すための工夫や、受け手の立場を踏まえた伝達の在り方について理解を深めることができた。



写真4 応募作品シーン3



写真5 応募作品シーン4